

第4回 道頓堀川水辺空間利用検討会 議事要旨

- 1 開催日時 平成29年2月23日(木) 14:00~16:00
- 2 開催場所 南海電気鉄道株式会社 本社4階 第2会議室
- 3 出席者

(委員)

9名出席(うち1名代理出席、3名欠席)

(事務局)

大阪市建設局下水道河川部河川課長、河川課長代理、担当係長3名、係員1名

(大阪市関連部局)

中央区役所にぎわい創造担当課長、浪速区役所市民協働課まちづくり担当課長代理

経済戦略局観光部水辺魅力担当課長、建設局河川・渡船管理事務所長

(管理運営事業者)

南海電気鉄道株式会社より4名

4 議題

(1) 前回検討会の振り返り(事務局)

事務局意見

- ◇ 写生授業について、道頓堀川界隈の小学校に声掛けを行い、取組みを広げていきたい。
- ◇ 花の植替えについて、沿川店舗の協力も含めた仕組みづくりを検討していきたい。
- ◇ 西側エリアの魅力創出の一つとして、パネル展示を検討している。

(2) 報告事項

1) 平成28年度上期・下期(見込み)の管理運営状況及び収支状況(管理運営事業者)

委員意見

- ◇ オープンカフェの件数は増えているが、エリアは広がったのか。

→ 【管理運営事業者】

西側エリアの大黒橋～新戎橋において、新たに1店舗と契約できた。東側エリアのうち、特に、相合橋～日本橋では、ほとんどの店舗が新規契約であり、エリアは拡大している。

- ◇ とんぼりリバーウォークのホームページにおいて、2~3ヶ月先のイベント情報を掲載できないか。

→ 【管理運営事業者】

イベント内容の確定は直前になることが多く、不確定な情報を開示することが困難であるが、出来る限り公開できるよう取り組んでいく。

- ◇ 道頓堀を大阪最大の情報発信の場の一つとして考え、今後、とんぼりリバーウォークや近隣商店会等と連携した情報発信を行っていきたい。

(3)検討事項

1)西側エリアの新たな賑わい創出に向けた独立型店舗のエリア拡大（事務局）

委員意見

◇ 南海電鉄株として意見はどうか。

→ **【管理運営事業者】**

店舗ができることで、防犯面が向上し、周辺のゴミ等の減少が考えられ、西側エリアの新たな賑わいづくりとしてプラスの方向で考えている。

◇ トイレが無いと不便と感じる。このような課題をクリアにしていきたい。ぜひ、男女別トイレを設置していただきたい。

→ **【委員】**

世界的に公衆トイレは安全面を考えると難しい問題であり、縮小傾向にある。

【事務局】

トイレは行政的に難しい問題であり、例えば、募集するにあたり、仮設トイレを条件とする等今後検討していきたい。

◇ 短期的に賑わい創出を目標にすることは良いが、賑わいを創出することで周辺のまちづくりに寄与すると考えると、長期的なコンセプトがあった方が良い。

2)広告に関する審査基準（利用ルール）の改正（事務局）

委員意見

◇ 喫煙マナーや未成年者の喫煙防止に関する広告を緩和する旨、審査基準に追記する。

(4)その他

1)道頓堀川におけるネーミングライツに関わる取り組み（事務局）

委員意見

◇ 複数の募集があった場合、どのような基準で選定するのか。

→ **【事務局】**

募集価格が最も高い事業者を選定する予定である。

◇ 3箇所の船着場は一斉募集するのか、あるいは別々に募集するのか。

→ **【事務局】**

募集時期は同じだが、場所ごとの状況が異なるため、別々の募集を考えている。

2)御堂筋完成 80 周年記念事業（事務局）

委員意見

◇ 道頓堀川の未来を考えるにあたり、水辺だけでなく道路も含めた新たな魅力創出に向けた取組みを検討するため、地元の方々にもアイデアを伺うことになるので、よろしくお願ひしたい。

3)オープンカフェ等の不適正利用（事務局）

委員意見

- ◇ 杓子定規にルールを決めても上手くいかない部分は必ず残るし、性善説でお互いに上手くやっっていこうという前提だけではできない。契約エリア外で使用料を払わずに使用することは違反となるが、一律のルールでは本当の活性化にはならない。

→ 【事務局】

ルールを徹底するために指導する、あるいは罰則を設ける方法があるが、沿川店舗の方にも魅力ある空間を創っていこうという意識を持ってもらえるような仕組みができないかと思っている。

- ◇ ルールを守ってもらうことが大切であり、罰則など強い権限を管理者へ与え、ルールを逸脱する場合は退出してもらうという強い意志で取り組むべき。南海電鉄(株)へ権限を与え、大阪市がバックアップすべきだと考える。

→ 【管理運営事業者】

努力はしているが、指導が行き届かない状況であり、地元の皆様も一緒に協力していただき、取り組んでいきたいと思っている。テナントが納得できるような仕組みづくりを皆様と相談しながらやっていきたい。